

特定非営利活動法人  
気象キャスターネットワーク

活動報告書  
2007年度



2008年2月20日 作成

NPO法人 気象キャスターネットワーク

〒110-0002

東京都台東区上野桜木1-14-21 高遠レジデンス上野桜木(地下1階)

TEL & FAX: 03-3828-8694 MAIL: [info@weathercaster.jp](mailto:info@weathercaster.jp)

## 目次

1. 会員の皆様へ
2. 理事会からのご報告
  - (1) 事務局について
  - (2) ホームページのリニューアルについて
  - (3) 団体保険加入のご案内
3. 会員数とネットワークの拡大
4. 2007年度の活動一覧
5. 環境教育社会貢献活動
  - (1) パートナーシップ賞を受賞
  - (2) 地球温暖化出前授業
  - (3) 『海の温暖化』『地球温暖化のおはなし』—日本財団・キリングroup協賛—小冊子配布
  - (4) エコプロダクツ2007
  - (5) エコライフ・フェア2007
  - (6) なごや環境大学
  - (7) 霞ヶ関見学ツアー
  - (8) 地球温暖化コンテンツの配信
6. 気象教育活動
  - (1) 気象キャスターの育成  
集中講座 ビギナー&マスターコース
  - (2) 会員向けのスキルアップ講座
    - ① プレート・活断層（地震の基礎知識）
    - ② 緊急地震速報の解説
    - ③ 今年の夏はどうなる？長期予報の解説
    - ④ 数値予報モデルの改善について
    - ⑤ 気象と経済
    - ⑥ 防災の現場
7. 会員による講演活動
8. 2008年度の活動予定
9. 事務局だより
  - (1) 事務局長のご挨拶
  - (2) 副代表のご挨拶
  - (3) スタッフご挨拶

# 1. 会員の皆様へ

気象キャスターネットワーク（WCN）は設立5年目を迎えます。去年は「パートナーシップ賞」を受賞し、NPOとして着実に社会的な評価が高まってきております。それと共に、気象キャスターの社会的な地位も向上しつつあるのではないのでしょうか。これも皆様のWCNへの積極的なご参加の賜物だと思っております。

WCNの目的としては、気象キャスターの地位向上と活動範囲の拡大があります。地球温暖化防止に向けた出前授業など新たな活動領域を見出している点でも、目的に向かって確実に進んでいるものと判断できます。今後とも皆様のご協力の程、よろしくお願いいたします。

この先の展開は、学習指導要領の改訂に伴い総合的な学習の時間が削減され、私たちの出前授業が他の団体と競争激化するものと予想されます。一方、今後、生涯学習が重要視されることから、学校だけでなく、公民館など地域での活動が期待できます。

しかし、どんな状況になろうとも、私たちが切磋琢磨して質の高い授業を継続していれば、リピーター校や新規応募校は増加し、他の団体との競争にも優位に立ち、新規開拓も可能ではないかと考えます。

目標は全国の全小・中学校、それに全自治体へ訪問し、さらに、世界へと飛び出すことです。そして、夢を持つことの大切さを伝え、夢の実現のためには地球環境を守る必要があることを広めていきましょう！



WCN代表 平井信行

## 2. 理事会からのご報告

### (1) 事務局について

これまでは他のNPOとの共同オフィスでしたが、現在はWCN単独のオフィスになりました。場所はこれまでと変わりありません。皆様、お近くへお越しの際はぜひお立ち寄りください。



〒110-0002

東京都台東区上野桜木1-14-21

高遠レジデンス上野桜木（地下1階）

TEL & FAX : 03-3828-8694

MAIL : info@weathercaster.jp



JR山手線 鶯谷駅から徒歩7分

地下鉄千代田線 根津駅から徒歩15分

## (2) ホームページのリニューアルについて

2007年12月、ホームページのデザインを一新しました。私たちの活動を多くの方にとって  
もらいたいのと、出前授業の学校募集、講演や講座開催のお知らせなどを円滑に進めたいという狙  
いどおり、シンプルで見やすいデザインになったと思いますが、皆様いかがでしょうか。これから  
も随時改良を加えながら、よいホームページになるよう努力していきます。会員の皆様からも、ご  
意見やご感想をいただけると幸いです。

ホームページのアドレス及び問い合わせ用のメールアドレスは以下の通りです。

<http://www.weathercaster.jp>

[info@weathercaster.jp](mailto:info@weathercaster.jp)



### (3) 団体保険加入のご案内

2007年12月、保険に加入しました。

事務局までお申し出下さい。

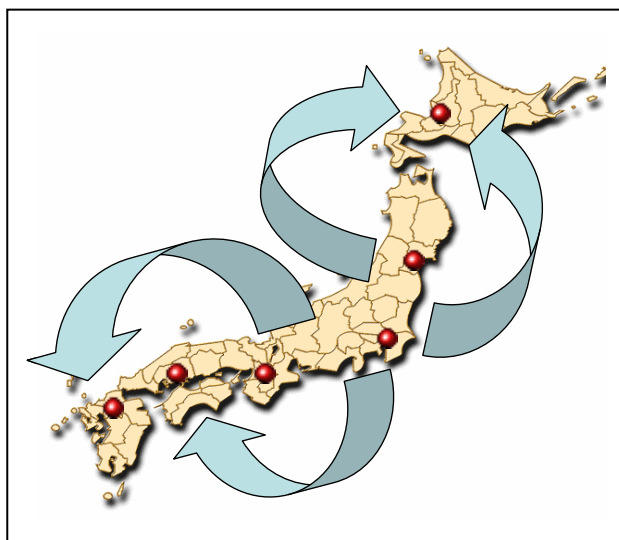
## 3. 会員数とネットワークの拡大

2007年末の時点での会員数は

正会員 80人 一般会員 52人 合計132人です。

前年度と比べて47人増えました。そのうち正会員が40人と大幅に増加しています。出前授業の回数が増えたために、講師をしていただける気象キャスターや気象予報士の方を確保する必要がありました。さまざまな方法で会員を増やす努力をしましたが、ときには会員の皆様にご紹介いただくこともありました。その節はありがとうございました。おかげさまでネットワークは北海道から鹿児島まで全国に広がっています。

2008年度は全国の会員の皆様にご参加いただけるような、勉強会、講演会、イベントなどをもっと増やせるよう、企画を練りたいと思っています。ご要望や企画案などがございましたら、お気軽に事務局へご連絡ください。



## 4. 2007年度の活動一覧

- 1月 ダイエー開始
- 2月 総会&懇親会  
環境基金終了  
第8回気象キャスター集中講座 マスターコース  
原稿解説講座（ビギナー）
- 3月 水資源機構講演
- 4月 日本財団小冊子海の温暖化完成  
シャープ出前授業開始  
講座 <地震の基礎知識><緊急地震速報>
- 5月 原稿解説講座（ビギナー）
- 6月 エコライフ・フェア 2007  
講座 <長期予報 今年の夏の傾向>  
茅ヶ崎環境フェア
- 7月 原稿解説講座（ビギナー）  
第9回気象キャスター集中講座 マスターコース
- 8月 講座 <数値予報について>  
なごや環境大学「親子で学ぼう！地球温暖化」  
環境省子供霞ヶ関見学デー  
「お天気キャスターと温暖化について考えよう」  
品川区夏休み子供講座
- 9月 第10回気象キャスター集中講座 ビギナーコース  
キリン協賛地球温暖化出前授業スタート  
日本財団助成事業海野温暖化出前授業スタート
- 10月 講座 <気象と経済について>  
海の温暖化研修会
- 12月 講座 <防災の現場から>



## 5. 環境教育社会貢献活動

### (1) 第5回パートナーシップ賞を受賞

平成19年11月10日、特定非営利活動法人パートナーシップ・サポートセンターによる第5回パートナーシップ賞を受賞いたしました。シャープさんとともに全国500の小学校で「地球温暖化出前授業」を実施するという環境教育社会貢献活動が評価されたものです。日本財団ビルで行われた授賞式では、シャープ（株）環境安全本部副本部長の谷口実様と当会の藤森涼子副代表が、活動に参加して下さった皆様を代表して表彰を受けました。



左：シャープ（株）谷口実様 中：藤森副代表



岩谷事務局長 藤森副代表 スタッフ川瀬君

---

### (2) 地球温暖化出前授業

2007年度は4月から小学校・中学校を対象に出前授業をスタートしました。

テーマは「地球温暖化」です。

授業前半は、気象キャスターネットワークの講師による「地球温暖化のお話」。授業後半は、協働、協賛、助成事業によって内容は異なりますが、さまざまな実験を実施しながら、子供たちに「温暖化を防ぐために今すぐに出前授業」を考えてもらいました。SHARP株式会社と協働の「リサイクル・太陽エネルギーのお話」。キリンホールディングス株式会社と協賛の「植物への影響・大切さのお話」。日本財団助成事業の「海の温暖化のお話」。

訪問した学校は北海道から沖縄まで540校（2008年3月まで）。授業や実験は子供たちに大変喜ばれ、先生方からも高い評価を頂いています。また、一般紙、業界紙、教育機関の新聞、各報道機関からは授業の取材等を受け、その内容は広く掲載されました。その結果、この授業は各分野の方々より注目して頂いております。2008年度は新たな協賛企業の獲得にも力を注いで参りますので、全国の会員の皆さま、引き続きご協力をお願い致します。

## ■ K I R I N 環境教育活動講師 体験談

気象予報士、防災士、元 CATV、FM ラジオ気象キャスター 長島純子さん (会員)

「みんな地球温暖化の事を良く知っているなあ」と言うのが、出前授業の最初の感想でした。今の子供たちは地球温暖化と共に生まれ、地球温暖化と共に育っているからなのかもしれません。また、現在の学校教育では、環境授業に取り組んでいる学校もたくさんあります。そのため、「北極や南極の氷が融け、海の水の量が増え、海の中に沈んでしまう国がある」とすぐに答えられる子供たちはたくさんいました。でも実際に今そういうことがこの地球上で起こっていることを実感している人は多くないでしょう。二酸化炭素と空気の熱の吸収実験を子供たちの前でやってみると、二酸化炭素のほう気温が高くなることを見た子供たちの驚きの隠せない表情が印象的でした。

近年、集中豪雨や台風の被害の増加、異常な夏の暑さ、秋の短さなどいままでの地球とは、少しずつ確実に変化していることを実感します。でもまだ日本の気候の特徴である四季は、崩壊されてないので、美しい日本の四季をいつまでも感じるためにも、この出前授業を通じて、子供たちが今以上に地球温暖化に興味を持ち、地球温暖化防止の行動をするきっかけとなってくれたらいいと思います。





## ■ SHARP環境教育活動

シャープ株式会社 環境安全本部 環境社会貢献部 主事 中井剛男さん

純粋な笑顔

2005年6月30日（愛知県）弥富町立白鳥小学校へ環境教育に行きました。

リサイクルの実験で、ほんの少し発達障害のある女の子と実験器具で遊んでいたとき、うまく分別してくれたので、「うまいことできたな！ ばっちりやん！」と声を掛けて頭をなでてあげると、その女の子が「うわーい！ ほめてもらった！ 頭なでてもらった！」と言ってくれた、その笑顔に衝撃を受けました。

『なんて透き通った、純粋な、輝きのある笑顔！』。自分が子どもの頃に置いて来た忘れ物・・・純粋に生きる大切さを思い出しました。

企業の環境社会貢献活動として環境教育を実施しましたが、とても素敵な体験を通じ、忘れられない大切な人生の起点をいただき、更に給料をいただくのは申し訳ないと思いました。その時に、このような活動が継続的にできることを望んでいたのです。

その半年後、東京のエコプロダクツでNPO 気象キャスターネットワークの横山キャスターさんと弊社の谷口が運命的に出会いました。

現在の年間500校活動にまで成長した「小学校環境教育」は、更に素晴らしい活動になるはず。子どもたちの素晴らしい笑顔に勇気と希望が見えます。私達ができる精一杯の熱意と愛情で、希望に満ちた未来にしたいと思います。

## ■ SHARP環境教育活動講師 体験談

STVラジオキャスター・気象予報士・防災士 三好真紀さん（会員）

私は、北見や夕張、来年サミットが行われる壮瞥町など、比較的小さな学校を多く担当しました。児童数が少ないほど子供達一人ひとりの顔がよく見えて、どんな話に興味を持つかダイレクトに伝わる良さがあります。札幌から約250キロ離れたオホーツク海に面した小さな町、浜頓別町の小学校は全校児童9人でした。日頃、多くの人に接する機会の少ない小さな学校の子供ほど出前授業が深く印象に残るのではないかと思います、いつも以上に責任を感じ、私にとっても貴重な体験となります。

どんな学校でも、子供達は地球温暖化の大きな原因が二酸化炭素にある事を知っており、環境教育の普及を実感します。しかし、ある学校では、通学路に風力発電の風車があっても、それが地球温暖化と関係がある事を出前授業で初めて知った子が沢山いました。情報を得ても、温暖化を自分の問題として捉えるのは大人でも難しいものです。この活動が、今後、学校教育と定常的に連帯を結ぶ事ができればと期待しています。

授業の中に、自分達の身近な地域の話が出てくると子供達の注目は高くなります。地元の温暖化を知る事は防災にも繋がります。これかも、子供達の心に届く授業を目指し、微力ながら人と社会に貢献できればと思っています。

## ■子供たちからの手紙

出前授業を受けてくれた子供たちから、沢山のお礼の手紙が事務局に届いています。私たちにとって一番の励みになります。



## (3) 『海の温暖化』『地球温暖化のおはなし』—日本財団・キリングroup協賛—

地球環境問題について触れる機会がぐんと増えてきました。テレビの影響なのでしょう。最近では小さな子供でさえ「ホッキョクグマがいなくなっちゃう」なんてドキッとすることを口にします。陸に住む私たちは、とかく地上や空のことばかり考えがちですが、地球の表面積の約7割を占める海のことにも、もっと目を向けなければなりません。そこで、私達は2006年度に日本財団の助成を受け、地球温暖化による海への影響や今後の予測について調べ、データや素材を集めました。全国を駆け巡り、さまざまな分野の専門家や研究者の方に貴重な情報を頂きながら「海の温暖化」の小冊子を完成させました。

その成果を2007年度に形にしました。東京・大阪・名古屋で「海の温暖化出前授業」の講師研修会を開催し、全国20の中学校でモデル授業を実施しました。主に海沿いにある都市や既に影響が出始めている海とともに暮らす町や村、そして離島の学校からたくさんの応募がありました。この授業は中学生を対象に実施しましたので、講師陣もより深い知識を要求されましたが、研修会の成果もあって充実した授業になりました。2008年度は協賛企業を募って、引き続き「海の温暖化」を知ってもらう活動を広げていきたいと思っています。



#### (4) エコプロダクツ2007

濱岡友美さん (会員)

今回、初めてアシスタントとして参加させていただきました。気象キャスターネットワークの「環境授業」ブースは大企業の巨大ブースの中でちろんまりと置かれていて、人が集まるのかどうか、少し不安がありました。

午前中、小学生向けの時間は団体予約があったこともあり、クイズ形式のもと、にぎやかな雰囲気で行われました。実は、準備が不足していて照射実験がうまくいかずにご迷惑をおかけしてしまったので、これからは時間がない中でもぬかりない実験準備を心がけたいと思いました。

そして、集客が心配された大人向けの時間。PR会社やシャープさんの呼びかけで、予想以上の方々が話を聞きに来られました。講師の方々の個性で、聴衆の反応もまたそれぞれ違って興味深かったです。普段はなかなか他の方のお話を聞けないので、とても勉強になった気がします。

準備時間、告知方法、ブースの大きさなど、今後につながる課題は見たものの、聞いていたお客さんの反応は上々だったと思います。また、大人の方の関心がとても高いので、大人向けの内容も充実させていけば一層良いのではないかと思います。

エコラボレーションスクールにて



手回し発電の体験コーナー

大人向け講演と子供向け講演とに分けて開催



## (5) エコライフ・フェア2007

吉村友宏さん (会員)

今回も昨年と同様に環境局に協力する形で当会はエコライフ・フェアに参加しました。

2日間とも晴れて日射しも厳しい中、連日1000人近くのお客さんが環境局のブースに足を運んで頂き、2日間で2000人を超す賑わいとなりました。

そんな中、私達は学生さんを含む10人のスタッフで盛り上げていきました。

今回の内容は

- ・地球温暖化防止 教育活動の紹介  
気象キャスターによる出前授業の活動をパネル等で紹介
- ・地球温暖化、熱中症、省エネについてのクイズ  
クイズ、アンケートに回答してもらい、用紙と引き換えにグッズをプレゼント  
又は、実験などを体験・見学してくれてもらったら、プレゼントする  
以下☆マーク2点セットを配布  
☆地球温暖化防止の小冊子（光合成実験などの体験コーナー）  
☆ポカリスエットグッズ（熱中症のVTRを見てのクイズ）
- ・雲画像地球儀作り（工作） 合計100個  
1日、50個限定で地球儀に雲画像シートを貼り付け作り
- ・手回し発電機を使って電気を作り  
18W・100Wの電球を使い手回し発電でどの位の力が必要か体験
- ・植物の光合成実験  
光合成実験： 植物を使っての二酸化炭素吸収量測定
- ・100年後の天気予報体験（クロマキー使用）  
クロマキーを使って100年後の天気予報

実際のクロマキー体験と100年後の予測天気を体験

などの盛り沢山の内容でしたが、混乱も無く進めていく事が出来ました。

お客さんからは「このブースが1番良かった。」という言葉も頂き、心温まる場面がいくつもありました。

事務局スタッフも今回は外に飛び出しての仕事でしたので、普段あまり見る事の出来ない場面も見ることが出来ました。また、今回のイベントを通してスタッフの仲が一段と結束されました。



2007年6月2日(土)、3日(日)に代々木公園のケヤキ並木・イベント広場にて、エコライフ・フェア2007が開催されました。今年度も気象キャスターネットワークは、東京都環境局と「都市と地球の温暖化 ～感じてみよう、考えよう～」というテーマで共同出展しました。当日は天候にも恵まれ、多くの方でブースは賑いました。展示内容は、地球儀づくり、100年後の天気予報、クイズラリー、パンフレットの配布などです。

雲画像を使った地球儀づくりでは、親子で協力して地球儀を製作している姿が、私にはとても印象的でした。100年後の天気予報では、クロマキーを使って写真撮影を行いました。家族や友達同士などで一緒に撮った、普段とは少し違う写真は、素敵な記念の一枚となったのではないのでしょうか。そして、私たちスタッフにとって嬉しくもあり、驚いたことは、クイズラリーに参加される方の数が非常に多かったことです。今年は大塚製薬様からの提供で、クイズラリーに参加された方にはポカリスエットグッズの配布も行い、ブースの前に列ができるほど大勢の方に、展示や手回し発電機を体験していただきました。

「暑さ」と「押し寄せる人」がとても印象に残った2日間でしたが、多くの方にお越しいただき、環境や気象キャスターネットワークの活動について知っていただき、とても良かったと思います。





エコライフ・フェア2007

クイズラリー集計表

(  が正解 )

Q1：石油、石炭・ガスなどの燃料を燃やす

事で排出される温室効果ガスは？

- ①水素 ②フロン  ③二酸化炭素

正89% 誤11%

Q2：熱中症予防で補給が必要なモノは水

と何ですか？

- ①ビタミン  ②塩分 ③カルシウム

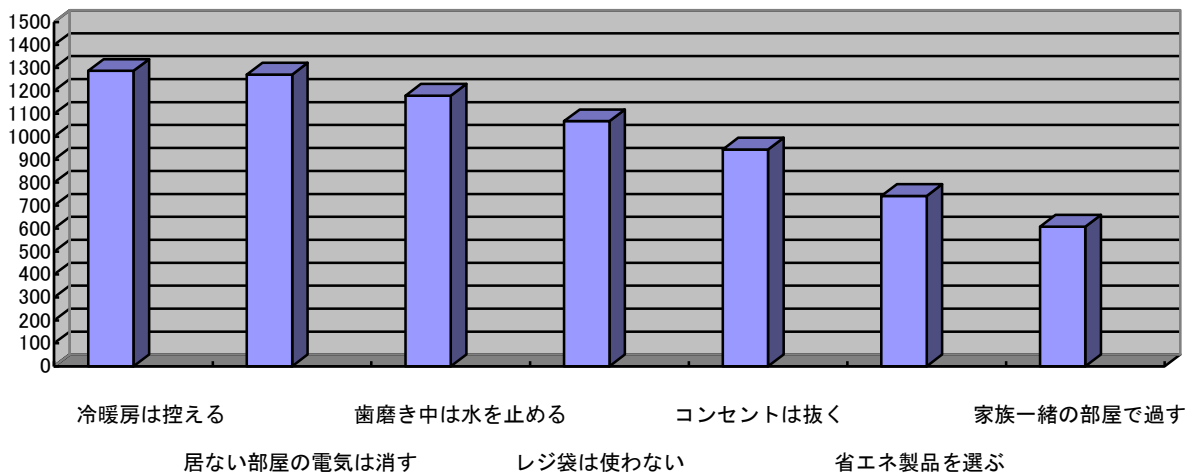
正88% 誤12%

Q3：電気使用量が少ないのはどっち？

- ①白熱電球  ②蛍光灯

正83% 誤17%

・ 地球温暖化防止対策としてあなたが行っている事は？（1870人中）



その他の回答

エコバックを持つ

缶・ペットボトルのリサイクル

環境行政に携わる

冷蔵庫の開閉を短く、少なくする

テレビを消す

こまめな消灯

野菜クズなどを土にする

お風呂の水の再利用

雨水の利用

水筒を持ち歩く

公共交通機関を使う

割り箸を使わない

ゴミの分別に注意する

常に節約を心がける

## (7) なごや環境大学

元CBCアナウンサー 気象予報士 桜沢信司さん(会員)

なごや環境大学は、一般的な大学ではありません。名古屋の学習施設や、企業の施設・工場、森や川の身近な自然など「街じゅうをキャンパス」にして、市民や企業、大学、行政などが、環境の知識・経験・問題意識をもちよって、幅広く講座やシンポジウムなどを行う環境学習事業です。

WCNでは、昨年度に引き続き2007年夏も、なごや環境大学の特別講座に参加し、地球温暖化を学ぶ授業「親子で学ぼう！地球温暖化」を企画・開講しました。

午前は「なごや一受けたい授業」と題し、WCNの出前授業のノウハウを生かした、地球温暖化の仕組みや海面上昇の原因などの授業を。

午後は「平成ちきゅう教育委員会」と題し、地球温暖化クイズで楽しく学ぶ環境問題や、地球儀づくりなどで、異常気象を親子で考える授業を行いました。



東海地区・杉山範子会員の授業の様子

夏休み最後の土曜日とあって、夏休みの自由研究のテーマにしたいといった親子などで、教室はほぼ満員状態。参加した親子は、「難しい言葉を使わず、体験&クイズ形式の授業で楽しく環境のことが学べた」という意見が多く、各方面からも高い評価を得ることができました。

WCNでは、このような地域の協働活動にも参加して、環境活動を積極的に行っていきたいと考えています。



地球儀作りの様子・講師たち

## (8) 霞ヶ関見学ツアー

8月23日・24日の2日間にわたり「こども霞ヶ関見学デー」の一環で、環境省にて『地球温暖化の話』を行ないました。

田代優美さん(会員)

今回は、環境省の夏休みの子供向けイベントの一環として、地球温暖化に関する出前授業を担当しました。初めてのことで、とても緊張しましたが、子供たちのキラキラ輝く瞳に、その緊張も次第に解けていきました。

驚いたのは、子供たちが、地球温暖化について、とても興味を持っていて、熱心に話を聞いてくれたことです。私が子供の頃は、学校で環境問題について教わることはありませんでしたが、今は、多くの学校で、熱心に環境教育に取り組んでいるようです。これからの次代を担う子供たちに、もっともっと、地球の環境について興味を持ってもらえたらと思います。

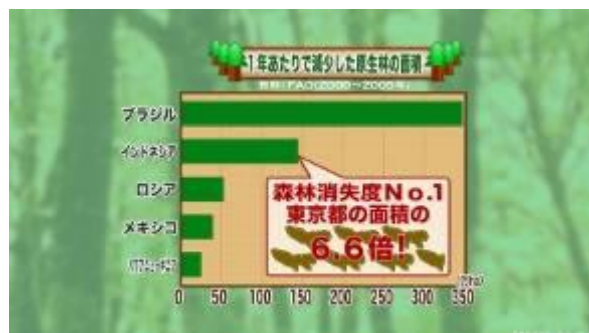
私は、普段子供と接する機会がないのですが、子供たちと話すことで、新しい発見があったりもしました。

これからも、いろいろな学校に出かけて、ぜひ、出前授業を担当したいと思います。



## (9) 地球温暖化コンテンツの配信

環境省チームマイナス6パーセントから委託されている温暖化コンテンツも今年で4年目を迎えました。温暖化に関する最新の話題と画像を全国の報道機関に無料で配信しています。画像はそのままテレビやラジオ、新聞などで使用する事ができます。



## 6. 気象教育活動

### (1) 気象キャスターの育成

気象知識の研修として、2007年度は合計6回の気象講座を開催いたしました。気象庁や大学研究機関のご協力により、素晴らしい講師の皆様にお越しいただき、最先端の天気予報技術や研究現場の貴重なお話をさせていただきました。また、気象キャスター育成のために<ビギナー>と<マスター>の2つのコースの集中講座を開催しました。ビギナーコースでは天気予報の解説原稿作成や話し方などを学んでいただき、マスターコースではクロマキーシステムを使って本番さながらの天気予報のプレゼンを練習していただきました。講師を現役気象キャスターや経験者が務めたことで、報道現場の裏話も盛り込みながら、他にはない当会ならではの講座を開催できたと思います。2008年度は気象キャスター育成講座の回数を増やして、より多くの方々に学習していただける機会をご提供できるよう努力いたします。気象キャスターの地位向上のために、これからも現役気象キャスターの皆様には講師としてご協力をいただければ幸いに存じます。

<集中講座 ビギナー&マスターコース>

2007年度に実施した講座

2月～	3月	第8回気象キャスター集中講座マスターコース
7月～	8月	第9回気象キャスター集中講座マスターコース
9月～	11月	第10回気象キャスター集中講座ビギナーコース



## <原稿講座の開催>

原稿作成の基礎を固め、読みやすい天気予報原稿の作り方について、講座を開催しました。

### ■受講生の声

中山尚美さん (会員)

今回の講座では「分かりやすく伝えることの難しさ」を改めて実感しました。普段、テレビで「お天気コーナー」をよく見てはいるのですが、いざ、自分で書こうとすると文章がまったく浮かばず、本当に焦りました。そして、やっとの思いで書いた原稿は、情けない文章のオンパレード。初回の受講後は、これでは先が思いやられる、とがっかりしたものです。今回の気象原稿講座は、他人が読む原稿を書くことが目的。「分かりやすく短い文章で書き、ポイントを絞り込む」などプロのノウハウを惜しげもなく教えていただきました。また、自分では意識していなかった文章のくせも知ることができました。そして、テレビとラジオの原稿の違いにも「なるほど」と感心しきり。メディアによって、伝え方が変わること気づく良い機会となりました。講座は少人数でアットホームな雰囲気。こちらの疑問点にもきめ細かく対応していただきました。予定時間をオーバーすることもしばしばでしたが、それだけ熱心にご指導いただき感謝しております。気象予報士になったものの、その後どのような勉強をすれば 仕事に活かせるようになるのかと不安を抱いていました。このような実践を積み重ね、道を開きたいと思っています。



## (2) 会員向けのスキルアップ講座

2007年も会員の皆様に知識を高め、技術を習得していただくための講座を多数開催いたしました。各界の第一人者を講師としてお招きし、心に響くお言葉や意欲をかきたてられる励ましをいただき、最先端の科学には主催した私たちでさえ驚かされました。とても有意義な講義だったというご感想を多くの方からいただき、このような機会をもっと増やして欲しいというご要望もありました。来年度も全国ネットワークのNPOならではの講座を開催する予定です。ご期待ください。また、素敵なアイデアがありましたら、どんどん事務局にお知らせください。





2007年度  
講座一覧

- ① プレート・活断層（地震の基礎知識）  
講師 平井史夫先生 駒澤大学非常勤講師（地理学）
- ② 緊急地震速報の解説  
講師 齋藤誠先生 気象庁 地震火山部管理課即時地震情報調整官
- ③ 今年の夏はどうなる？長期予報の解説  
講師 渡辺典昭先生 気象庁地球環境・海洋部気候情報課予報官
- ④ 数値予報モデルの改善について  
講師 室井ちあし先生 気象庁予報部数値予報課予報官
- ⑤ 気象と経済  
講師 平沼洋司先生 国土交通省航空保安大学校非常勤講師
- ⑥ 防災の現場  
講師 北角友和先生 群馬県消防防災課主任

### ■受講生の声

～プロ講座「数値予報講座」を受講して～

川崎亜有子（会員）

数値予報モデルは年々進化しており、「簡単には理解しづらい」と常々感じていました。そこで今回はチャレンジの気持ちも込めて参加をしました。内容は、「平成19年11月には『全球モデルGSM』が高度化すること」について。（現在）60kmメッシュ → （改善後）20kmになることから、『領域モデル』と『台風モデル』が廃止され、『全球モデルGSM』に統合されることになりました。これにより、

- ★短期～週間予報、台風の進路・強度予報を単一の数値予報モデルを使って行う。
- ★予報特性が均一で一貫性のある、高精度な数値予報プロダクトが利用可能になる。
- ★ 台風進路予報には『台風アンサンブル』を併せて利用し、単一のモデルで起こりがちな大きな予報誤差を軽減するなど、素晴らしい進歩発展に期待が募ります。今回の講義は この話を軸に

- ① 数値予報の概要
- ② 解析（データ同化）
- ③ 数値予報モデル \*全球モデル（GSM）\*領域モデル（11月より廃止）\*メソモデル
- ④ アンサンブル予報
- ⑤ 数値予報モデルの改善計画 などについて 解説していただきました。

たくさんのお話の中で、面白かったのは やはり通常では聞けないお話。

- ★今回の『全球モデル』高度化で さらに計算量が増え、気象庁の清瀬庁舎にあるスーパーコンピュータの台数をさらに増やし対応。あまりに重いため 床が抜ける恐れがあり大手町に置けないこと。
- ★ 原発での事故がおきると IAEA から各国に要請があり、放射能がどこへ流れるか GSM で瞬時に予測をすること。
- ★ 新GMSの鉛直解像度を成層圏の方を多く増やした。飛行機の燃料にジェット気流予想も大切らしい。今回初めて講義に参加しましたが、気象の知識がより身近になり大変役立ちました。これからも機会をみつけて 参加させていただきたいと思います。

## 7. 会員による講演活動

### (1) 講演一覧

今年度も多くの自治体や企業、団体から講演の依頼をいただき、会員の皆様にご活躍いただきました。皆様お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

#### 1月～7月

- 1月 ダイエー親子講座  
板橋区立エコポリス  
岡山県生協連講演会
- 2月 埼玉県吉川市役所講演会  
東久留米市教育委員会  
宇都宮市環境政策課  
板橋区環境保全課  
東京エンターテイメント  
気象友の会  
ダイエー親子講座
- 3月 水資源機構  
神奈川県平塚市大原小学校  
日本環境協会  
目黒区立第七中学校  
シャープエコナビ研修
- 4月 キリンビール  
シャープエコナビ研修
- 5月 ダイエー親子講座
- 6月 愛知県環境部環境活動推進課  
茅ヶ崎市環境政策課  
JFE ミネラル  
東芝横浜事業所  
ダイエー親子講座
- 7月 安芸市環境課  
モスフードサービス  
ダイエー親子講座  
品川区環境講座

## 8月～12月

- 8月 伊藤忠親子講座)  
シャロンのばら伝道所  
和気町教育委員会  
NHK札幌 防火・防災ひろば  
気象庁気候講演会  
品川区環境講座  
横浜市栄区生涯学級  
環境省霞ヶ関子供見学デー  
なごや環境大学  
横浜市栄区生涯学級  
三重県朝日町講演会  
マホロバマインズ・カヌー講座
- 9月 **WWF** 英国大使館シンポジウム  
宮城県登米市温暖化出前授業  
北海道新聞社防災減災フォーラム  
大阪府箕面市役所  
海老名市地球温暖化講座
- 10月 小平市青年会議所講演会  
すぎなみ環境ネットワーク  
ダイエー親子講座大阪
- 11月 神奈川県新エネルギー省エネルギー学校派遣事業  
中野区講演会  
長野県薬剤師会検査センター講演会  
テレビ大分講演会  
ダイエー親子講座千葉  
川口市講演会  
立川市講演会
- 12月 千葉県印西市立木刈中学校講演会  
国交省常陸河川事務所河川防災フォーラム  
名古屋港管理組合講演会  
日本環境教育フォーラム 15周年記念シンポジウム  
広島県環境まつりイン尾道  
横浜市環境創造局お天気キャスターからみた地球温暖化

## 8. 2008年度の活動予定

- 1月 プロ講座<北極振動とその予測>開催
- 2月 日通協同環境教育出前授業開始
- 3月 気象講座<全4回>  
ダイエー&チームマイナス6%コラボ「温暖化講座」
- 4月 SHARP 協働環境教育出前授業開始（年間500校）  
気象キャスター集中講座（マスターコース）<全6回>
- 5月 環境教育出前授業開始（キリンほか協賛）
- 6月 環境教育モデル授業開始（日本財団助成）  
エコライフ・フェア2008
- 7月 気象キャスター集中講座（ビギナーコース）<全8回>
- 8月 なごや環境大学 親子講座  
夏休み親子環境講座（品川区・伊藤忠他）
- 10月 気象キャスター集中講座（マスターコース）<全6回>
- 年間 気象講座を随時、開催予定。

## 9. 事務局だより

### (1) 事務局長のご挨拶

気象キャスターや気象予報士が社会のために何かできることがあるのではないかと設立した気象キャスターネットワークも4年が経ちました。地球温暖化についての学校出前授業は500校を超えるまでになりました。2007年もパートナーシップ賞をシャープ株式会社さんと共同で受賞しましたし、毎年のように様々な賞を頂いていて、大変光栄なことです。これも私たちの活動を支援していただいている企業さん、そして、全国各地の気象キャスターや気象予報士、地球環境に関心のある方々の協力があってこそその成果です。本当にありがとうございます。気象キャスター育成の講座では気象庁や大学の研究者の協力を得て、2006年度よりも数多く実施することが出来ました。ただ、まだ課題もあります。キャスターを目指す人たちに対して十分な講座とはいえないこと、地方のキャスターへの支援が十分でないこと、効率よく事務運営することなどが課題です。気象キャスターネットワークが持続的に発展できるよう、事務局運営をしていきたいと思っておりますので、温かい目で見守ってください。今後ともよろしくお願ひします。



事務局長 岩谷忠幸

### (2) 副代表のご挨拶

2006年度50校から始まったシャープさんとの出前授業が、2007年度は年間550校！15名程だった講師は、現在60名以上！私の睡眠時間、8時間→半分??信じられない程の規模で活動が広まっていくと共に、私にとっても、事務局にとっても今までに経験のない忙しい一年になりました。初めはスタッフ一同バタバタして皆様にご迷惑をお掛けしましたが、時間が経つにつれて皆遅しくなり、今では2008年度はどんな忙しさになるのか、ちょっぴり楽しみにしています。

今年度も会員一丸となって、全国に様々な情報やメッセージを発信していきましょう。真夜中に届く私からの日程調整のメール、みなさん待って下さいね！



副代表 藤森涼子



### (3) スタッフから会員の皆様へ

気象キャスターネットワークの活動が全国へ広がるのに合わせて、事務局のスタッフも増えてきました。現在は11人で事務局を運営しています。皆、本職を持ちながらWCNの活動をしています。出前授業・講演会・講座・資料収集・企画・営業など、活動を広げるために日夜、東奔西走しています。定期的に行われる事務局会議の日以外は、全員が顔を合わせる事はありません。だからこそ、いつも綿密に連絡を取り合い、円滑に運営できるように力を合わせています。

これからも会員の皆様に対する感謝の心を忘れずに、前進していきます。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

2008年度は全国の会員の皆様から、地元ならではのネタや情報を事務局にお寄せいただき、それを再び全国の会員の皆様に配信出来るような、情報共有ネットワーク作りに力を入れたいと考えています。ご協力をお願いいたします。



実験道具づくり



授業や講演の資料づくり

本書作成にあたりコメントをお寄せいただいた皆様、誠にありがとうございました。編集の都合で校正させていただいた部分もございます。何卒ご了承ください。